沖縄県議会議員 花城 大輔

会派＊沖縄・自民党
令和２年３月特別号
沖縄県議会
〒900-0021　那覇市泉崎 1-2-3　６階
電話・098-866-2754　FAX：098-866-2773
詳しくは会派ホームページへ

代表質問（令和元年６月）

1　米軍基地問題について
(1) 基地の整理縮小について
(2) 埋立工事の進捗状況について
(3) 日米地位協定の見直しについて

2　沖縄振興策の推進について
(1) 次期沖縄振興計画策定に向けて
(2) 中国の一帯一路への参加について

3　農林水産業の振興について

4　子ども・子育て支援について

5　教育・文化・スポーツの振興について

■定例会を終えて

玉城知事が、慰霊の日に行われた全戦没者追悼式の平和宣言に於いて、辺野古問題を取り入れた件に対し再質問を行った。

犠牲になられた御霊を慰める恒久平和を願うという本来の目的を見失っていると指摘した上で、沖縄県の慰霊の日の追悼式として相応しい内容になっているかという質問に対し、『今後も式典で辺野古移設に反対する考えを表明する』と答弁した。

知事自ら来年以降も指笛・ヤジ・怒号が飛び交う追悼式を認める旨の発言は非常に残念でならない。

一般質問（令和元年９月）

1　知事の政治姿勢について
(1) 知事の海外出張について伺います。
(2) 知事と面談する際の取り決めについて伺います。
(3) 県職員の管理体制について伺います。
(4) トークキャラバンについて伺います。
(5) 消費税増税について伺います。

■定例会をおえて

知事は、本当に大切な事は明言しない！

知事は、就任してこの1年を振り返って、県民に対して、どのような沖縄を目指していくのかはっきりさせるべきだ」と要望しました。

ロバート梶原氏が、国連の人権委員会で『日本軍は沖縄戦で琉球人を14万人を虐殺した』と発言した件も、宜野湾市議会が辺野古移設推進と決議しても、発言する立場にないという姿勢は沖縄県のリーダーとして相応しくないと思います。

そして、玉城県政の最大な矛盾である『辺野古は反対であるが、浦添は容認』とする政治姿勢も許されるものではない。

今後とも知事の政治姿勢について、しっかりと追及していきたいと思います。

一般質問（令和元年 11 月）

万国津梁会議の委員選定、会食問題・また、契約の内容等、多くの説明責任を求められながらも未だなされていない。その他ＩＳＣＯ前理事長の解職問題等引き続き、県の姿勢を追及する。

1　知事の政治姿勢について
2　ＩＳＣＯについて
3　教員の労働環境について
4　我が党の代表質問との関連について

■定例会を終えて

万国津梁会議の委員選定の正当性を審議する目的で、いわゆる三役メモの提出を求めたところ、県の方向性を決定する三役会議に議事録がない事がわかった。

本来、資料として保存されるべき性質のものであり、危機管理の点からも重要であると思う。

これでは、県民に公開できない県政運営がなされていると、更なる疑義が生じても払拭できない。

県は、誰が見ても納得できる資料の提示と説明責任を果たす義務があり、それが為されなければ疑惑の県政は県民の信頼を失っていく。

令和２年２月定例議会

■質問　仲田　弘毅
沖縄のシンボルである首里城の復元・再建のあり方と予算に関する国との調整をどうするか問う。また、国内外に向けて、的確な対応策が求められている「新型コロナウイルス」や「豚熱」等への対処策について、医療行政と農林水産行政の姿勢を問いたい。

■質問　座波　一
首里城火災の責任問題、万国津梁会議業務に関する疑惑問題と職員倫理のあり方を追及し、ＭＩＣＥ施設整備事業で派生した和解金問題を追及する。

■質問　中川　京貴
沖縄県の最大の振興策は、教育と人材育成、観光振興である。県内社会資本整備や次期沖振計策定について問う。

■質問　山川　典二
我が国初の沖縄県警国境離島警備隊創設の目的と内容。沖縄県の地震、津波など防災対策。大幅に遅れている消防防災ヘリコプター導入事業。那覇空港第2滑走路の活用策。薬学部設置の可能性などについて質問する

■質問　大浜　一郎
次期沖振計へ向けた正念場の年。沖縄関係予算はこれでいいのか？離島振興は次期振計の重要な柱！その取り組みを問う。

■質問　花城　大輔
首里城火災、豚熱、新型肺炎等、次々と起こる異常事態に対して、県の危機管理はどうなっているのか？この他にも外郭団体の人事問題やＭＩＣＥの和解金サンゴの採捕許可申請に対する姿勢など行政としての機能を有しているとは思えない。正常に機能するよう指摘。

■質問　西銘　啓史郎
危機管理体制（首里城火災・豚熱・新型コロナウイルス等）について追及すると同時に、観光立県としての課題解決を質し、実現に向けて提言を行う！

■質問　又吉　清義
首里城火災、豚熱の発生、中国での新型肺炎等の発生による県内観光への影響等、県は危機的状況に直面している。玉城県政は、万全な対策と対応が出来たか？又、一刻も早い普天間の危険性除去の為に取り組むべき事が、今では議論が噛み合わない。知事の真意を問う。